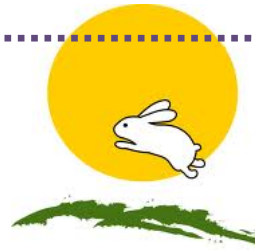




すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴
22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況 *Let's Activate Area AGRI*

- ・作業内容は、食用桑の収穫、ブルーベリーの収穫、夏野菜の手入れや収穫、草取り、草刈り、きゅうり定植、などの作業でした。
- ・8月の援農時間は無償研修も含め、1,457.5 時間となり、1ヶ月の時間では過去最高でした。
- ・援農依頼のあった農家は11軒、援農参加者は65人でした。
- ・今年度1月からの累計は8766時間、前年度比128%です。
- ・夏は一番の農繁期です。一方夏は、子どもが夏休みになり、命に関わるほどの猛暑になり、出にくくなります。農作物はずらせない作業(大根や白菜の種まきなど)と、ずらせる作業があります。農家と援農者の間の情報共有の必要性を感じた夏でした。



第6回理事会開催 9月7日(金)18:00~20:30

台町市民センター 出席者; 理事計10名 監事2名

(1) 行事計画について

J A 農業祭参加 ・すずしろ祭り・講演会(忘年会兼ねる)
日時、責任者、場所、目的(目標)などについて

(2) 予算執行の検討

しおり、月報の印刷、写真、パネルの作成
分科会の経費、その他

(3) 援農活動の検討 7月、8月の実績報告と今後の課題

(4) すずしろ22の支部を他県でつくりたいという申し出があり、一緒に活動するのは難しいが、情報提供はできるかぎりさせていただくこととした。

(4) 理事会の開催日を早めに決める。

きゅうりの
支柱片つけ



援農分科会開催予定 9月29日 浅川市民センター

イベント情報

- ① 10月27日(土) すずしろ祭り 子供キャンプ場で予定
- ② 11月10日11日 J A 農業祭に出店 (富士森公園)
- ③ 12月6日(木)講演会兼忘年会 各イベントの詳細は次号で

新しく入会された方々 山田正勝さん(元横山町)、高木文弘さん(北野町)

援農体験記

私も援農はピッタリ

諏訪町 大田哲男

5月末に入会しました大田哲男です。40余年のクリーニング店を閉店してやや2年、毎日ごろごろ昼寝とテレビにあけくれている私をみかねて、妻が趣味の会での知人から紹介を頂き、「すずしろ」さんに会おう事が出来ました。

現在は良きお仲間にも出会えて、元々広島山奥育ちの私にとって農作業のお手伝いは本当にピッタリの作業です。性格上少々言葉づかいが粗末ですが、他意は有りませんので、すずしろさん、仲間の皆様よろしく願いいたします。

ちょっと耳にした情報・アドバイス

さつま芋栽培だより

加住町 村内意史



昭和58年、出水のする水田を一部暗きよにして、純心学園用地山林の残土を3メートル位埋め立てました。良い畑となり、そこに毎年さつま芋だけ作付をして居ります。長いこと紅あずまを作っていましたが、5年ほど前に隣家の方より『むさしこがね』と言う品種の苗を頂きました。その後、この2種類を、肥料(化成13号 N3、P10、K10)や消毒(ネマトン剤、ペンレートを20~30分間苗の根元につける)を同じにし、栽培しました。『むさしこがね』は収量があり、細身のものにも筋がありません。貯蔵が上手にいけば、春先まで粉質型で、しまりが良く、甘みも変わりません。2年前より紅あずまはやめて、「むさしこがね」のみ作っています。学校給食やいちよう祭りの焼き芋、大きなものは市内の和菓子店で芋ようかんとして販売して頂いております。

事務局より

援農に参加されていない方は、年に1回でも2回でもいいですから参加されませんか。援農は、農地を維持する力になり、参加した本人も大地から力をもらえます。